

公共事業事前評価調書(公共事業事前評価結果整理表)

主要目標番号	Ⅱ.Ⅱ-2.(3)
対象事業	急傾斜対策事業
主要目標	崖崩れ被害の防止

優先順位付け の考え方	対象地区・箇所名	個別事業の妥当性評価						事業間優先度の評価						事業間 ランク	評価委員会意見	総合意見	評価結果	
		公共関 与、事 業執行 主体の 妥当性	経済効 率性	事業 実施、 規模 の妥 当性	整備 手法 の有 効性	環 境 負 荷 へ の 配 慮	事 業 計 画 の 熟 度	貢献度ランクの評価				副次効果ランクの評価						
								貢献度 ランク	過去の災害実績、緊 急度、災害発生 の危険度(評点法)	人家1戸当たり被害軽減額 又は災害時重要公共施設		副次効果 ランク	評点					
										人家1戸当 たり被害軽減額	災害時重要 公共施設							
点	百万円/戸	有無																
	都留市大野 大津の3	○	○	○	○	○	○	a	10.0	100.0	有	1	1	S I			実施	
過去の災害実 績、緊急度、災害 発生の危険度が 高く、人家1戸当 たり被害軽減額 が大きい地区を 優先する。																		
								基準値	10	39	有	基準値	1.0					

副次効果評価調査書

主要目標番号		II. II-2. (3)		主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所 で想定される副次効果	評価の説明	評価結果
主要目標		崖崩れ被害の防止					
評価対象地区・箇所名				都留市大野 大津の3			
主要目標項目	I. 県民生活の豊かさと経済の発展を支える基盤充実	I-1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上				
			(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上				
			(3) 市街地内の交通の円滑化				
			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上				
		I-2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上				
			(2) 憩い空間の創出				
			(3) 生活排水処理機能の向上				
			(4) 良好な市街地空間の確保				
			(5) 適正な居住空間の確保				
			(6) 歩行者等の通行空間の確保				
			(7) 道路景観の向上				
		I-3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上				
	(2) 農業生産力の向上						
	(3) 農業用排水能力の向上						
	(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)						
(5) 森林整備の効率化							
II. 暮らしと経済活動の安全性確保	II-1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保					
		(2) 災害に強い道路の確保					
		(3) 都市災害防止					
		(4) 交差点の安全性、円滑性の向上					
	II-2. 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止					
		(2) 土石流被害の防止					
		(3) 崖崩れ被害の防止	●				
		(4) 地滑り被害の防止					
	II-3. 鳥獣被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減					
	副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化				
アクセス機能の維持							
主要渋滞ポイントの解消							
生活環境		水質の浄化					
		大気汚染の軽減					
		騒音・振動の軽減					
		良好な景観の創出					
		バリアフリー化の促進					
		ライフラインの強化					
		身近な緑地・交流の場の提供					
		飲雑用水の安定供給					
		糞尿の処理					
		地域の文化・学習等活動の支援					
各種情報の円滑な提供							
自然環境		水源涵養機能の向上					
	生態系空間の再生						
事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保						
	緊急時の避難・救助機能の確保						
	被災時の被害波及の防止	●	●	第二次緊急輸送路の保全(主要地方道都留道志線)	1		
	既存施設の崩壊危険性の排除						
生産性	走行安全性の確保						
	林業生産力の向上						
	遊休農地の解消						
	新たな公共用地の創出						
	農地の保全						
その他	農林産物の販売促進						
	自然エネルギーの活用						
	リサイクルの推進						
	文化・歴史的資源等の保存・復元						
重要プロジェクトとしての位置づけ	他事業との一体施工	●					
		●					
副次効果 評価合計							1

注1)「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。
 注2)副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合には1点とする。

別紙3：急傾斜地崩壊対策事業

		大津の3																
過去の災害実績・緊急度		評点	0															
(1)	直近のがけ崩れ発生の有無																	
	S 発生から3年以内	4																
	B 過去にあり	2																
(2)	過去10年間の実績被害																	
①	人的被害の状況																	
	S 死者・行方不明者あり	4																
	A 負傷者あり	3																
②	最大被災戸数																	
	A 2戸以上	3																
	B 1戸	2																
③	重要な公共施設等(道路、鉄道、官公署、学校等)の被害実績の有無																	
	A 有り	3																
④	災害弱者関連施設(病院、身障者施設、老人ホーム、幼稚園等)の被害実績の有無																	
	A 重要施設(※)あり	3																
	B 有り	2																
(3)	過去10年間の避難実績(自主避難を含む)																	
	B 有り	2																
災害発生の危険度		評点	10															
(1)	斜面の高さ(危険区域内における最大高)																	
	B 30m以上	2	2															
(2)	斜面の平均勾配(危険区域内における最大勾配)																	
	A 45度以上	3																
	B 40～45度未満	2																
(3)	斜面形状																	
	C 谷地形又は凸状	1	1															
(4)	遷急線(勾配の変化)																	
	B 明瞭	2	2															
(5)	オーバーハングの有無																	
	B あり	2																
(6)	地盤の状況																	
	A 崩積土・火山碎屑物・強風化岩	3	3															
	B 段丘堆積物	2																
	C 軟岩	1																
(7)	湧水の有無																	
	A 常時あり	3																
	B 降水時にあり	2	2															
	C 斜面が常に湿潤	1																
(8)	植生の状況																	
	C 生育状況が不良	1																
計			10															

※ 災害弱者関連施設のうち重要施設
 高齢者、障害者等自力避難が困難な方が24時間入居・入院している施設